

科目名 (科目番号)	疫学 (時間割参照)	教員名 横山 博子	学科等	看護	必修	履修年次	2
	曜日・時限等		時間割表参照	単位数	2		
	授業形態		講義	オフィスアワー	第一・B322		
授業概要	疫学は、健康関連の様々な事象の頻度と分布を把握し、その関連要因を明らかにする学問です。具体的な事象に触れたり、計算問題を解きながら、疫学の考え方を学習します。						
目的・目標	目的: 疫学の目的と方法を理解する。 目標: ①疫学の研究デザインを理解する。 ②疫学的統計方法を理解する。 ③具体的事象について、研究計画(分析方法も含む)を立てることができるようになる。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	疫学の学習内容	到達目標: 疫学とは何か。どのような課題を扱うかを理解する。 学習内容: 疫学で学習する内容の全体図を学ぶ。				
	2	疫学研究方法 (1)	到達目標: 記述疫学の具体例、分析疫学における研究法の特徴を理解する。 学習内容: 記述疫学、分析疫学の概要を学ぶ。				
	3	疫学研究方法 (2)	到達目標: 3つの研究の特徴と、具体的なバイアスを理解する。 学習内容: 横断研究と生態学的研究、症例対照研究を学ぶ。				
	4	疫学研究方法 (3)	到達目標: それぞれの研究の特徴を理解する。 学習内容: コホート研究、介入研究の意味と特徴を学ぶ。				
	5	疾病頻度の指標 (1)	到達目標: 罹患率、累積罹患率、有病率を計算できる。 学習内容: 頻度の測定に用いられる指標を学ぶ。				
	6	疾病頻度の指標 (2)	到達目標: 致命率、死亡率を計算できる。 学習内容: 頻度の測定に用いられる指標を学ぶ。				
	7	曝露効果の指標(1)	到達目標: 相対危険の意味を理解し、計算できる。 学習内容: 頻度の比較の意味と計算方法を学ぶ。				
	8	曝露効果の指標(2)	到達目標: 寄与危険の意味を理解し、計算できる。 学習内容: 頻度の比較の意味と計算方法を学ぶ。				
	9	曝露効果の指標(3)	到達目標: オッズ比の意味を理解し、計算できる。 学習内容: 頻度の比較の意味と計算方法を学ぶ。				
	10	因果関係	到達目標: 因果関係と相関関係の違い、因果関係の可能性を高める状況を言える。 学習内容: 因果関係の意味を学ぶ。				
	11	バイアスとその制御方法	到達目標: バイアスの内容、交絡因子の調整方法を理解する。 学習内容: 選択バイアス・情報バイアスと交絡を学ぶ。				
	12	年齢調整	到達目標: 直接法と間接法の計算方法とその意味が言える。 学習内容: 年生調整法を学ぶ。				
	13	スクリーニング (1)	到達目標: スクリーニングの条件、敏感度と特異度を計算できる。 学習内容: スクリーニングの意味と条件、指標を学ぶ。				
	14	スクリーニング (2)	到達目標: スクリーニングレベルの変動とROC曲線を理解する。 学習内容: スクリーニングレベルの変動による影響を学ぶ。				
	15	疫学研究と倫理	到達目標: 倫理内容と具体的手続きを理解する。 学習内容: 研究者が守るべき倫理を学ぶ。				
成績評価の方法・基準	授業時の課題 (30%) + 期末試験 (70%) (オンライン、対面のいずれも同様)						
教科書	看護学生のための疫学・保健統計 改訂4版	浅野嘉延著			南山堂		
参考図書	適宜指示する。						
教員からのメッセージ	授業内容は理解度にあわせて順番を変更することがあります。 課題はコメントをつけてクラスルームで返却します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。						